

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)

【公開番号】特開 2001-129235 (P2001-129235A)
 【公開日】平成 13 年 5 月 15 日 (2001.5.15)
 【出願番号】特願 平 11-317533
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

G 0 6 F 12/14 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 5 2 N

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 5 0 Z

G 0 6 F 12/14 3 2 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 16 日 (2006.10.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 有価価値情報が書き換え可能に記録された記録媒体の装着に基づいて遊技媒体の貸出制御を行う遊技媒体貸出機と、

前記遊技媒体貸出機に接続される遊技機と、を含み、

前記遊技機は、

遊技プログラムに従って遊技の進行を制御する遊技制御部と、

前記遊技媒体の排出制御を行う排出制御部と、

前記遊技媒体貸出機の貸出操作部と、を備えた遊技装置において、

前記遊技制御部は、

前記遊技の進行の制御を開始する前に、前記遊技プログラムの正当性を判定し、正当な遊技プログラムであることが判定された場合に前記遊技プログラムに処理を渡す遊技プログラム判定手段と、

ユニークな個体情報を記憶する記憶手段と、を備え、

前記遊技媒体貸出機は、

前記貸出操作部からの入力に基づいて排出制御部に貸出指令を行う貸出制御手段と、

前記記憶手段に記憶されたユニークな個体情報および（または）遊技プログラム判定手段の判定結果に基づいて、接続されている遊技制御部の正当性を判定する判定手段と、

前記判定手段の判定結果を報知する報知手段と、を備え、

前記判定手段は、

前記遊技制御部の正当性が判定されなかった場合に前記貸出制御手段を不能動化状態にすることを特徴とする遊技装置。

【請求項 2】 前記遊技機は、遊技媒体貸出可能状態を表示する遊技媒体貸出可能表示器を備え、

前記遊技媒体貸出機は、前記不能動化状態において前記遊技媒体貸出可能表示器に遊技媒体貸出不能表示を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技装置。

【請求項 3】 前記遊技機は、前記記録媒体の読み取りや書き換えを行う記録媒体 R / W 装置を備え、

前記遊技媒体貸出機は、前記不能動化状態において前記記録媒体 R / W 装置の前記記録媒体の装着状態を禁止することを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技装置。

【請求項 4】 前記遊技機は、遊技用演算処理装置を搭載した遊技制御装置と、遊技媒体の排出を制御する排出制御装置と、前記排出制御装置と前記遊技媒体貸出機との接続を中継する中継基板と、を備え、

前記遊技媒体貸出機と前記遊技用演算処理装置とは、第一ハーネスにより通信可能に接続され、

前記遊技媒体貸出機と前記排出制御装置とは、前記第一ハーネスに設けられたコネクタとコネクタ形状を物理的に異にする第二ハーネスにより中継基板を介して通信可能に接続されることを特徴とする請求項 1 ないし 3 の何れかに記載の遊技装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、請求項 1 に記載の発明に係る遊技装置は、有価価値情報が書き換え可能に記録された記録媒体の装着に基づいて遊技媒体の貸出制御を行う遊技媒体貸出機と、

前記遊技媒体貸出機に接続される遊技機と、を含み、

前記遊技機は、

遊技プログラムに従って遊技の進行を制御する遊技制御部と、

前記遊技媒体の排出制御を行う排出制御部と、

前記遊技媒体貸出機の貸出操作部と、を備えた遊技装置において、

前記遊技制御部は、

前記遊技の進行の制御を開始する前に、前記遊技プログラムの正当性を判定し、正当な遊技プログラムであることが判定された場合に前記遊技プログラムに処理を渡す遊技プログラム判定手段と、

ユニークな個体情報を記憶する記憶手段と、を備え、

前記遊技媒体貸出機は、

前記貸出操作部からの入力に基づいて排出制御部に貸出指令を行う貸出制御手段と、

前記記憶手段に記憶されたユニークな個体情報および（または）遊技プログラム判定手段の判定結果に基づいて、接続されている遊技制御部の正当性を判定する判定手段と、

前記判定手段の判定結果を報知する報知手段と、を備え、

前記判定手段は、

前記遊技制御部の正当性が判定されなかった場合に前記貸出制御手段を不能動化状態にすることを特徴とする。

これによれば、遊技機の遊技媒体の貸出制御が、この遊技機に接続された遊技媒体貸出機から行われるとともに、遊技機の遊技制御に先立ち、遊技機の遊技プログラムの正当性が判定され、その判定結果および（または）遊技機のユニークな個体情報が遊技媒体貸出機に伝えられ、これらの判定結果（および）または個体情報に基づいて遊技媒体貸出機で遊技機の正当性が判定され、その判定結果が報知されるとともに、判定手段は、遊技制御部の正当性が判定されなかった場合に貸出制御手段を不能動化状態にするので、遊技制御手段の正当性が判定されなかった場合に遊技媒体の貸出制御が行われなくなる。

また、請求項 1 に記載の発明に従属する請求項 2 に記載の発明は、記遊技機は、遊技媒体貸出可能状態を表示する遊技媒体貸出可能表示器を備え、

前記遊技媒体貸出機は、前記不能動化状態において前記遊技媒体貸出可能表示器に遊技媒体貸出不能表示を行うことを特徴とする。

請求項 1 又は請求項 2 の発明に従属する請求項 3 に記載の発明は、前記遊技機は、前記記

録媒体の読み取りや書き換えを行う記録媒体 R / W 装置を備え、

前記遊技媒体貸出機は、前記不能動化状態において前記記録媒体 R / W 装置の前記記録媒体の装着状態を禁止することを特徴とする。

請求項 1 ないし 3 の何れかの発明に従属する請求項 4 記載の発明は、前記遊技機は、遊技用演算処理装置を搭載した遊技制御装置と、遊技媒体の排出を制御する排出制御装置と、前記排出制御装置と前記遊技媒体貸出機との接続を中継する中継基板と、を備え、

前記遊技媒体貸出機と前記遊技用演算処理装置とは、第一ハーネスにより通信可能に接続され、

前記遊技媒体貸出機と前記排出制御装置とは、前記第一ハーネスに設けられたコネクタとコネクタ形状を物理的に異にする第二ハーネスにより中継基板を介して通信可能に接続されることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0070

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0070】

【発明の効果】

請求項 1 から請求項 3 に記載の発明によれば、遊技機の遊技媒体の貸出制御が、この遊技機に接続された遊技媒体貸出機から行われるとともに、遊技機の遊技制御に先立ち、遊技機の遊技プログラムの正当性が判定され、その判定結果および（または）遊技機のユニークな個体情報が遊技媒体貸出機に伝えられ、これらの判定結果（および）または個体情報に基づいて遊技媒体貸出機で遊技機の正当性が判定され、その判定結果が報知される。したがって、不正を確実に判定して報知を行うことができ、速やかに所要の処置を講じて、ホールの経済的損失を回避することができる。しかも、遊技媒体の貸出機能に加えて、さらに、接続される遊技機の不正検出を行う機能を遊技媒体貸出機に付加することができる。遊技媒体貸出機の付加価値を高めて市場ニーズに応えることができる。そして、遊技制御手段の正当性が判定されなかった場合に遊技媒体の貸出制御が行われなくなる。したがって、遊技店の経済的損失を確実に回避できるとともに、遊技者への迷惑も回避することができる。

請求項 4 に記載の発明によれば、新たに不正情報収集用のネットワークを構築する必要がなく、ホールの改修コストを軽減できるばかりか、改修のための工事期間も短くて済み、既存のホールに導入しやすい有益な技術を提供することができる。また、ハーネスの接続間違いを確実に防止できる。